

2025年度 「正会員に対する活動助成」活動報告書

(ふりがな) 団体名	いっぽんしゃだんほうじん やまなしけんしゃかいふくししかい 一般 社 団 法 人 山 梨 県 社 会 福 祉 士 会
---------------	---

■ 活動報告の詳細

活動名称	小規模県士会の事務局 DX 強化と事務局員の働き方改革
活動の目的	当会は一般社団法人として事務局を設置し、パートタイム職員 3 名体制で運営している。社会福祉士会の事務局は、会員数や地域規模にかかわらず、安定した体制維持と多様な業務対応が求められている。 一方、全国的に人口減少や若年層の組織参加意識の低下により、職能団体の運営は厳しさを増している。特に小規模県士会においては、予算制約から待遇改善が難しく、人材確保が恒常的な課題となっている。 このような状況を踏まえ、本事業では小規模法人であっても DX を推進し、事務作業の効率化を図ることで、事務局職員の業務負担軽減および働き方改革につなげることを目的とした。
実施した活動の内容 会議・研修会・イベント等の開催日時、場所、参加者数等の活動内容の詳細を記入 ※別添（様式自由）にて提出可	・最新型パソコン 2 台を導入し、事務局運営に必要なクラウドサービスの導入・設定を行った。 ・Microsoft 社の法人向け Office 365 を導入し、セキュリティを確保したうえでのファイル管理およびメール運用を可能とした。 ・マイクスピーカーおよびウェブカメラを導入し、研修や会議における音声・映像トラブルの軽減を図った。

活動の成果	① パソコン更新により、10 年以上使用していた旧機器による動作遅延が解消され、事務作業を円滑に行えるようになった。 ②Microsoft365 は事務局のメイングループウェアとして導入した。現在は主に Outlook、OneDrive、配布グループなどの機能を使って事務局内の情報の管理や提供を行っている。今までは個人用の無料の Google や Outlook など単体のアプリを利用してきたが、特にファイルの保存などはセキュリティや保管の仕方、容量について不安があった。PC の最新環境への移行により、Microsoft365 のような AI 活用を含むクラウドサービスの導入が可能となり、セキュリティ水準の高いメールおよびファイル共有体制を整備できた 活用事例：独自ドメインを使った法人メール、配布グループを使ったメーリングリストの活用、ファイル保存、共有など ③ マイクスピーカーおよびウェブカメラの導入により、オンラインおよびハイブリッド形式での会議・研修開催が円滑に行えるようになった。特に委託研修においては、音声・映像面での支障が解消され、安定した運営につながった。 活用事例：やまなし市民後見人養成基礎講座（ハイブリッド開催）にて活用
--------------	---

活動実施を 通じての課題 実施していく中で、見えてきた活動遂行における課題	本助成事業は、DX 推進による業務効率化と事務局職員の負担軽減を目的として実施した。DX は、従来の非効率な業務を整理・簡素化し、企画や運営等の本来業務に注力できる環境を整えるものである。 しかし、ICT 活用に対する職員間の理解共有や、学習意欲・主体的に活用する意識が十分でない場合、導入しても活用が定着しないという課題が明らかとなった。また、既存業務の見直しを行わずに DX を導入すると、かえって従来業務を継続する方が「仕事をしている感覚」を得やすいという状況も見受けられた。 本事業を通じて、DX 推進そのものに加え、事務局体制の見直しや、理事会・事務局・各事業担当者間のコミュニケーション改善、事務局が事業運営に主体的に関与するための役割整理が今後の重要な課題として明確になった。
活動の実施状況・実施結果に関する情報の公開 あてはまるものにチェックと内容詳細を記入ください	※貴法人のホームページでの公表は必須となります。 情報の公開方法（複数選択可） ☒ 広報誌・会報誌等で公開 （ 広報紙「種をまく人に掲載」 ） ☐ その他 （ ）